



ゆう し きょう せい
有志 竟成

浜松市立北浜中学校
学校だより
令和3年3月19日

校訓：志を強くもってことにあたれば竟には成しとげられる

昨日の卒業式、今日の修了式をもって、令和2年度のすべてを終了しました。本年度は、1学期始業式・入学式を終えてから数日で休校に入り、「3月までに教育活動を終わることができるのか？」と本当に不安の中でのスタートでした。日々変化する状況に振り回された感がありますが、生徒も職員も、我慢しながら、そして工夫しながら、柔軟かつ誠実に対応してくれました。保護者や地域の皆様には、中学校の様々な対応につきまして、御理解・御協力をいただきました。ありがとうございました。

今年は、226名の卒業生が、北浜中学校を巣立ちました。3年間の中学校生活が、どうであったかが表れる卒業式の姿は、生徒と教員のとても良い関係性、温かなつながりが感じられる、少しうらやましいなと思えるものでした。

来年度も、いい卒業式が迎えられるよう職員一同努力していきます。変わらぬ御支援をよろしくお願い致します。

校長 渥美竜三



<3年 卒業式>

「R2年度 卒業証書授与式」 卒業生へのメッセージ（抜粋）

最後に、卒業アルバムのメッセージにも書いた、自分自身に言い聞かせている言葉を送ります。

「思い通りにならないとき、どんな行動・振る舞いができるか。」

毎日の生活では、思い通りになることもあれば、ならないこともある。そんなことの繰り返しだと思います。思い通りにならないとき・・・

- ・その原因を人のせいにしたり、自分をごまかしたりして言い訳をする、やめてしまう、あきらめてしまう・・・のか
- ・自分の問題として素直に受け止め、よくないことはよくないと認め、次はどうすればよいかを考え、新たなチャレンジする・・・のか

加えて、

「思い通りになっているときこそ、どんな行動・振る舞いができるか。」

自分の思い通りに物事が進んでいるとき、

- ・いい気になって、何でも自分の思い通りにできると錯覚し、周囲のサポートがあることすら気付かなくなってしまう・・・のか
- ・決して油断することなく、思い通りにいっている理由は何なのか、状況を客観的にみつめ、周囲にはおかげさまでという謙虚な気持ちで接していく・・・のか

思い通りにならないときはもちろん、なっているときこそ、その時の行動・振る舞いが、人としての価値、人として成長できるかどうかを決定づけているように思います。